

次世代北方型住宅に関する研究

担当部科 プロジェクト

研究の目的 北方型住宅の普及推進が始まって10年以上を経過し、住宅水準、住宅技術の向上などの成果を上げてきました。一方で社会状況の変化にともない求められる住宅像も変わってきており、北方型住宅の建設基準や、普及方策の役割に新たなものが求められてきました。そこで、良質な住宅ストックの形成による豊かな居住環境を目指した北方型住宅の今後のあり方、展開方策を検討するため、社会状況の変化に対応した、これからの住宅の目標像を明らかにし、その具体化のための技術の総合化、新たな技術開発、普及の仕組みを検討します。

平成2年からの普及推進

北方型住宅とは・・・北国にふさわしい住まいや暮らしのために基本的な住宅性能や機能の提案と、ゆとりや豊かさ、環境や地域に配慮した長く安全に暮らしていける住まい。

[北方型住宅建設基準]

基本要件	推奨要件
基本性能	ゆとり
暖房方式	豊かさ
換気方式	やさしさ
通気層の設置	まちなみ
乾燥材の使用	環境配慮
使用木材	地域配慮

[普及方策]

- 融資制度
- 技術提供
- 情報提供

課題

社会ニーズの変化への対応
道内住宅産業の振興
既存ストックの有効活用、質の向上
エンドユーザーへの普及の推進

社会状況の変化

地球温暖化防止への対応
・省エネルギー化の向上
環境共生住宅
・環境負荷低減
循環型社会
・産業廃棄物削減
・リサイクル
・リユース
少子高齢社会
・ユニバーサルデザイン
・維持管理費用低減
地域経済、住宅産業の低迷
・地域住宅産業
既存住宅ストックとリフォーム産業
シックハウス

北方型住宅の基本要件の普及状況（平成14年度調査から）

基本要件のうち基本性能は耐久性の各項目は約90%、バリアフリー性40%～90%、省エネルギー性（新省エネ基準）は70%～80%の達成で、もっとも基本的な部分はほぼ達成されてきたといえます。

他の基本要件のうち耐久性に関わる通気層についても89%と高い普及度になっています。

他の項目でも半数近くまで実施されるようになってきました。

北海道の新築住宅は北方型住宅の性能をかなりの割合で満たしていると言えるといえるでしょう。

基本要件	適合率 (%)
基本性能 [耐久性]	73.2%
防塵措置	91.0%
基礎立ち上がり	93.6%
床下換気口	86.7%
床下防湿	91.1%
土台小径	100.0%
基本性能 [バリアフリー性]	13.7%
廊下有効幅員	65.2%
居室出入口幅	89.0%
浴室短辺内法・面積	95.2%
浴室出入口幅	91.8%
住宅内階段	79.3%
手すり	56.7%
段差	34.4%
基本性能 [省エネルギー性]	41.7%
防湿・気密	86.9%
基礎・床下断熱	67.2%
外壁断熱	81.0%
天井・屋根断熱	82.6%
暖房方式	42.6%
換気方式	89.0%
通気層の設置	89.0%
乾燥材の使用	45.4%
使用木材の寸法（柱小径）	70.0%

今後の取り組み

北方型住宅の新しい目標像として、建設基準の改正、一層の省エネルギー化への技術開発、既存住宅の北方型住宅への水準向上、北方型住宅による地域の住宅産業の活性化などについて検討を行っていきます。